

鹿島小だより

3月号

学校ホームページ 中能登町立鹿島小学校
学校メールアドレス kashima_es@school.town.nakanoto.ishikawa.jp

令和4年3月1日
中能登町立鹿島小学校
TEL 76-1100
FAX 76-1088

ご支援・ご協力、ありがとうございました！

新型コロナウイルスの感染による臨時休校や一斉下校など、急な対応にご協力頂きまして誠にありがとうございました。今後も学校では検温、手洗い（手指消毒）、マスクの着用を行い、三密を避けながら教育活動に取り組んでいきます。活動が制限される中でも子ども達は元気に登校し、一人一人が学びに向かっています。保護者の皆様や地域の方々のおかげで、何とか無事に一年間を終えられることを教職員一同感謝しています。

感染対策のため縦割り班でのあいさつ運動を控えたこともあり、あいさつの声が少しずつ小さくなっていました。しかし、朝「おはようございます」と、大きな声であいさつをしている子ども達はたくさんいます。また、どの学級でも真剣に授業に取り組み、まっすぐ腕を伸ばして挙手をして活発に発言する子ども達もたくさんいます。さらに、同級生や下級生等に対してやさしい言葉かけをしたり、やさしい行動をとったりする様子もあちこちで見られます。それも保護者の皆様や地域の皆様の支えがあってこそだと思います。深く感謝申し上げます。

今年度もあと少しですが、がんばったこと、まだやり残していることなど、それぞれの成果や課題をしっかり確認し、新しい学年へと備えたいと思います。ご協力のほどよろしくお願い致します。

学校紹介① おもいやりスコップ設置 2/9(水)

中能登町より、4本のスコップを頂きました。鹿島小学校西口バス停（2か所）に、それぞれ2本ずつ設置しました。鹿島小学校周辺の除雪については、町が登校坂の除雪を行っています。また、歩道の除雪については、学校の方で行っています。しかし、降雪量によっては、除雪が追いつかない場合があります。

鹿島小学校西口のバス停は、路線バスやコミュニティーバスを利用している子ども達や地域の皆さんがたくさんいます。当然、バス停を乗り降りする際には、歩道を通ります。保護者の皆様や地域の方々の善意の雪かきで、歩道を利用する皆さんの安全が確保されるようにご理解とご協力をお願い致します。



設置されたスコップ

学校紹介② 似顔絵会 2/9(水)



5年生の説明を聞いて似顔絵を描いている様子

今年も卒業する6年生に1～5年生が、手書きの似顔絵をプレゼントすることになりました。それぞれの学級毎に5年生の指示に従って、6年生の写真を見ながら下書きをしました。その後、色を塗って、仕上げました。5年生は、下級生一人一人の似顔絵を見ながら指導したり、手伝ったりしていました。

仕上がった全ての似顔絵は、しばらく校内に展示します。卒業式の日に、6年生にプレゼントする予定です。

学校紹介③ 6年生 私の主張 「私が創造する未来」

6年生が、国語授業で主張文を書きました。テーマは、「私が創造する未来」です。いくつかの主張文をご紹介します。



6年1組 福井 妃紗奈

私は未来が自然豊かで人間だけではなく、動物達も普通に過ごせるような世界になってほしいです。私達が飲んでいるおいしい水も、吸っているこのきれいな空気も、すべて自然のおかげで私達も動物も生きているのです。

アナウンサーの池上彰さんは、「私達人間は、一人で生きられません。」と言っています。確かにそうです。一人でできることなんて、ほんのちょっとしかありません。だから、人は人と協力してこの世界を生きているのです。では、動物はどうでしょう？動物にだって家族もいるし、友達もいるし、「絆」だってあります。ただ人間と少し立場が違うだけなのです。

人はいろいろなものを生み出してきました。でも、その工業の発展によって地球温暖化や災害などを引き起こしてきたのです。人間が森林伐採等を行うことで、たくさんの動物たちが絶命してきました。他の生物が自分たちの家をぶっ壊しているような感覚です。けっしてもう新しいものを生み出すなどというわけではありません。動物を保護する人、ゴミを分別する人、リサイクル、リユース、リデュースを意識する人や、木を植えたりする人などこの世には、すばらしい人が数えきれないほどいます。けっしてそれが、私の将来の夢だとは言いません。しかし、皆さん一人一人がこれまで支え合ってきたように、自然を支えるという目標を持ち、取り組んでいくことが私達の名誉になるのではないのでしょうか。



6年2組 泉 ひな

私が思い描く理想の未来は、戦争のない平和な未来です。世界中の人が豊かに暮らし、みんなの笑顔や幸せであふれる未来を築きたいです。今、日本は戦争を起こしていませんが、世界中には戦争をしている国や地域があります。この問題を解決するには、「コミュニケーションが上手になること」と「メディアを通じて自分の思いや考えを伝え合うこと」が大切だと私は考えています。

作家の鴻上尚史さんは、「大切な人と深くつながるために」という文章の中でコミュニケーションが得意になることで、いろいろな人と深くつながることができることについて述べられていました。また、コミュニケーションが得意になるためには練習が必要なことも述べられています。

戦争という争いを招く前に、互いにコミュニケーションを取り合い、話合いで物事を解決することはできないのでしょうか。互いに意見を主張しながらも、相手の意見を大切にすることでより良い結論を導き出すことができるのではないのでしょうか。コミュニケーション能力は、平和な未来を築くためにとても大切なものだと思います。

このように私は、「コミュニケーションが上手になること」、「メディアを通じて自分の思いや考えを伝え合うこと」で平和な未来が築けるのではないかと考えています。



6年1組 笠間 絵吏

私は、いじめがなく、みんなが笑顔で明るい社会になってほしいです。今、世界中でたくさんの人がいじめで苦しんでいます。そのいじめが原因で自ら命を落とす人や、とても苦しくなり家で引きこもったりする人がたくさんいます。さらに、いじめられている人だけではなく、家族や友人の心も傷ついています。たくさんの人を傷つけてまで、なぜいじめをするのでしょうか。例えば、あなたがクラスの人々の悪口を言っているとします。悪口を言われている人は、すごく悲しい思いをします。あなたは、その時だけ悪口を言っていたとしても、その人は一生心が傷ついたままだと思います。このようないじめが無くなれば、たくさんの人を傷つけず、みんなが笑顔で明るい社会になると思います。

あなたは、知らないうちに、誰かを傷つけるようなことをしていませんか。誰かの陰口を言っていますか。この世の中を、さらに素晴らしくするのは私達、人間ではないのでしょうか。



今回、一部の主張文のみを紹介しましたが、すばらしい主張文がたくさんありました。機会があれば、再度ご紹介します。その他、2月からMROラジオの「ぼくの夢 わたしの未来」(月～金曜 夕方5:55～6:00)で5、6年生児童の作文が紹介されています。北陸放送のホームページから、放送予定の確認や過去の放送の視聴ができます。ぜひ、ご利用ください。